

## 第 1 回施設建設選定部会（第 1 部会）

招集年月日	平成 19 年 5 月 23 日（水）					
招 集 場 所	南部総合福祉センター2 階会議室					
開 会 時 間	午後 5 時 30 分					
閉 会 時 間	午後 7 時 10 分					
出席員 及び 欠席委員  〔出席委員 名〕 〔欠席委員 名〕	委員 番号	氏 名	出 席 の 別	委員 番号	氏 名	出 席 の 別
	1	赤 嶺 要 善	○	9	大 城 秀 雄	○
	2	与那嶺紘也	○	10	城 間 精 善	○
	3	伊 集 守 和	○	11	知 名 定 一	○
	4	津 嘉 山 斉	○	12	照 屋 義 実	○
	5	宮 平 正 和	○	13	山 口 修	○
	6	上 田 規 子	○	14	諸見里米子	○
	7	川 井 義 喜	○	15		
	8	大 城 順 子	○			
会議に出席した 事務局の職・氏名	事務局長	玉 寄 長 市				
	室 長	山 城 匡				
	主 任	知 念 正 樹				
	主 事	國 場 篤 志				
	広 報	名 嘉 山 博				
その 他 会 議 に 出 席 し た 者	マスコミ	沖縄タイムス				
会議に付した事件 及 び 議 決 内 容	別紙のとおり					

# 第1回施設建設選定部会（第1部会）

## 会 議 録

### 【報告事項】

4月27日に行われた全体部会での意見等について報告

### 【協議事項】

#### 1. 部会長及び副部会長の選出について

部会長 照屋義実(照正組社長・与那原町)

副部会長 赤嶺要善(豊見城市副市長)が選出された

#### 2. 南部のごみ処理の現状及び処理方式について

資料1、2を事務局より説明

##### 〈委員の意見・質疑等〉

① 資料1のごみの量、処理費用の実績と今年2月の新聞記事の実績、あるいは県の資料と数値に開きがあるが？

・関連する清掃組合からもらって資料は作成している。今後詳細を確認して次回報告する。

② 地域住民に一人当たりのごみ処理費用がいくらかかっているか認識させるべき。

③ 資料2のケース1から3の数字は現在の状況ではじいた数字(処理量等)なのか、それとも将来も含んだ数字なのか。

・規模等も正確な数値ではないが、前回の南廃協時代に将来予測も加味して出した数値を再度5市町に置き換えて出した数値である。(概算である)

④ 施設の規模とか敷地の規模とか具体的に委員会の中で議論したほうがいい。

⑤ 資料が分かりにくい(例えば、面積であれば400mトラックいくつ分で示すなど)数字だけ見ても、中身がみえてこない。

⑥ もう少し専門用語が分かる用語解説集等を準備できないか。

⑦ 処理施設を考える前に、施設を造らないということではなく、ごみ減量を町づくりに取り組んでいる先進地を視察して今後役に立ててはどうか。

⑧ 部会の所掌事項(処理方式の決定)に絞って議論しないといけない。時間が無い。(施設建設の期限は決められている)

⑨ これまで議論されてきたことはすべて白紙にするということか。

・処理方式・候補地については南廃協方式は引き継がないが、選択肢として残しておいてこれから第1部会で決めていく。その他南廃協で議論してきて使えるものは使っていこうという事で調整中である。そうしないと今までかけてきた時間と経費が無駄になる。

⑩ 南廃協で議論された処理方式は今の部員はほとんど分からない。

⑪ 前回の計画と、今回の計画を比較しながら議論しなければいけない。

⑫ 学識経験者(大学教授)を会議に参加させてはどうか

### 3. 部会のスケジュールについて

- ・6月18日(月)18時から処理方式についての勉強会を実施する。
- ・7月2日に県内視察、4日～6日に県外視察を行う
- ・8月に処理方式の比較検討を行い理事会へ答申

#### 〈委員の意見・質疑等〉

- ① 視察研修について・旧南廃協時代の資料もたくさん持っているのではないか。そうとう煮詰めてきたはずだし、視察に行くとなると委員の費用だけでも大変だと思うが。
- ② 積み上げてきた議論も大事にしながら新たな視点で議論(処理方式)していくということが大切。
- ③ 視察は行うべき。百聞は一見にしかずである。

#### 【確認事項】

- ・ 処理方式・候補地選定については基本的にはゼロからの協議になるが、南廃協のデータや決定した処理方式等も参考資料、選択肢として残しつつ協議していく。
- ・ スケジュールについては資料の日程のとおり行う